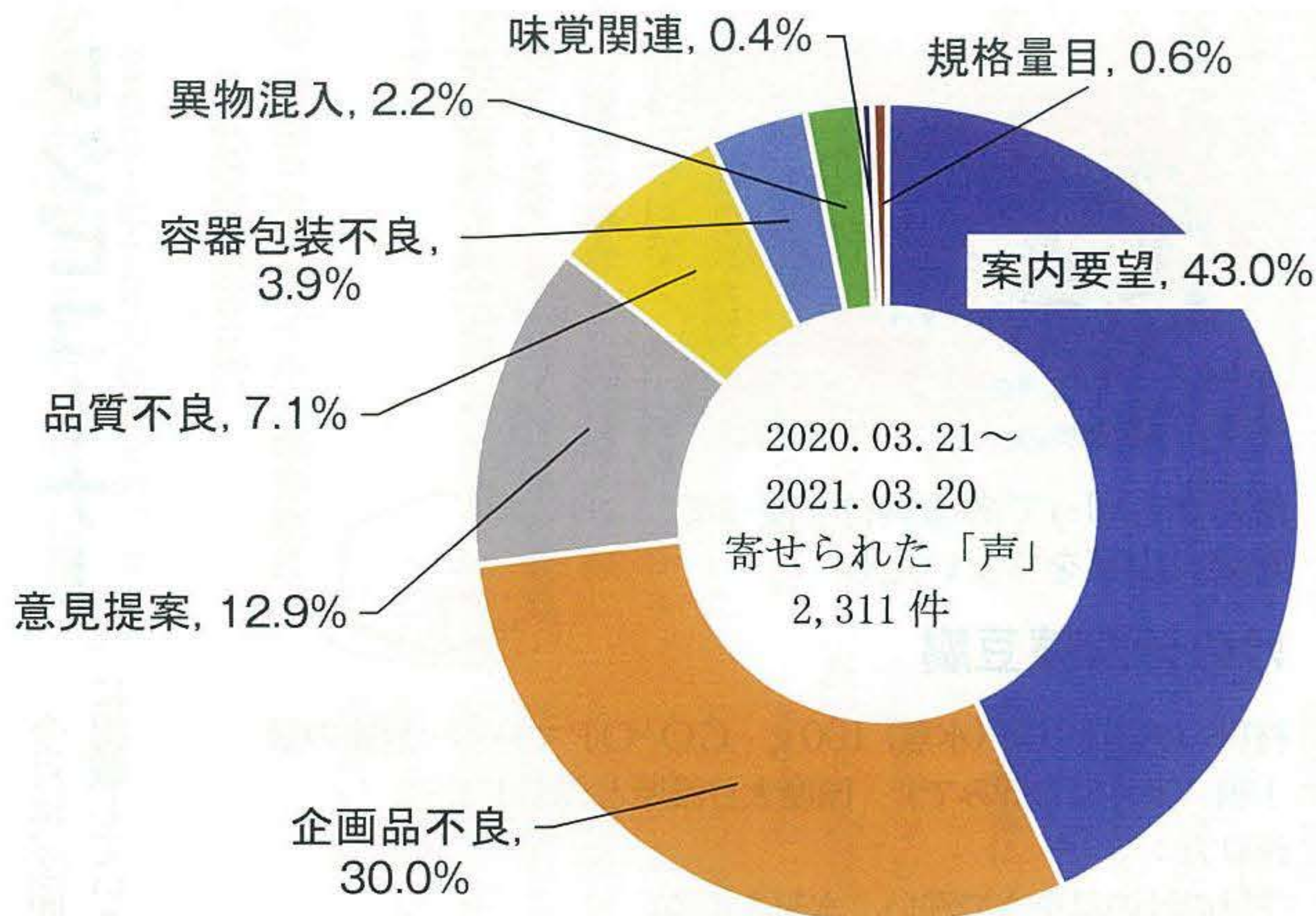


特集①

2020年度1年間に寄せられた声の内訳



◆ 1年間に共同購入の商品に寄せられた組合員の声は約2,311件。組合員が記入する「私のひとこえ」、「おしえて！おすすめ商品」、および組合員の声を職員が受けて記入する「私のひとこえカード」などにより約1,200件以上のご意見、ご要望が寄せられました。また、商品へのご指摘など品質管理上の注意を要する「商品お申し出」が約1,100件以上ありました。

声の分類

案内要望 (993件)	… 次回案内がいつか、〇〇で売っていた商品を扱って欲しい など
企画品不良 (694件)	… 陶器が割れていた、縫製不良 など
意見提案 (297件)	… Week紙面の文字を大きくしてほしい など
品質不良 (164件)	… 花が届いた時点でしおれていた、血卵がはいっていた など
容器包装不良 (89件)	… 袋が破けていた、袋に裂け目が入っている など
異物混入 (50件)	… 髪の毛が入っていた、虫が入っていた。といった苦情
味覚関連 (10件)	… 苦味を強く感じる、甘味が感じられない など
規格量目 (14件)	… 届いた野菜の量目が少ない 内容量が表記と異なる など

寄せられた声の一部は、はばたき・週刊版ニュースでも、Q&Aまたは、Q&A 拡大版で抜粋・要約または、質問の形で紹介しています。

商品に不具合があった際は、お申し出ください

1年間で寄せられた声は2,311件にのぼります。異物混入など調査が必要なお申し出は、外部機関に依頼する検査や混入経路の調査などが行われるため、調査結果のご報告（回答）まで3週間程度お時間をいただく場合もあります。現品を添えてお申し出頂くと、より詳しい調査が可能となり、メーカーに対しては的確な指導・改善・再発防止対策が行えます。お申し出の際は現品を添えて組合員担当または該当センターへお知らせください。

特集② こーぷな話

こーぷあおもりの産直基本政策について（前編）

今回から2回に分けて、産直品に関するこーぷあおもりの考え方や立場をお伝えします。前半は産直の理念など立場や考え方について、後半は産直農産物や産直畜産物などの産直品の基準についてお伝えします。（今月掲載のふかうら雪人参を生産する舳作興農組合もこーぷあおもりと産直提携を結んでいる生産者です。）

1. 産直の理念

こーぷあおもりが進めていく産直は、生産者（組織）と消費者（組織）とが、お互いの立場を理解しあいながら、生産物の商業的取引や相互交流を通して、日本の農業や食料の問題について考えあうことを重視します。このことを通して、こーぷあおもりのビジョンに掲げている「持続可能な地域社会」につながる農業の発展をめざす取り組みとしていきます。また、農産物以外の分野においても、その生産・加工に携わっている人々と組合員との交流を推進し相互の信頼関係を醸成していくことを重視します。

2. 産直の基本的立場

①「品質」や「安全・安心」という組合員ニーズに適った生産体制を、生協と生産者が協力する中でつくりあげていきます。

②生協と生産者が協力する中で、くらしの基幹となる食料と、日本、とりわけ青森県の農・水・畜産業とその加工

業および生産者のくらしを守っていくことをめざします。

③生産者と組合員が交流することによって、相互信頼を高めながら共通の想いとお互いの共感により食の未来を創造していきます。

3. 産直の原則

- ①産地と生産者がわかる。
- ②生協方法・栽培方法がわかる。（だれがどこで作ったかわかること）
- ③生産者と組合員の交流がある。（生産者と組合員が理解しあえること）

こーぷあおもりでは、これらの考え方から産直に取り組んでいます。そのことから、現在はコロナウイルス感染拡大の影響から実施できませんが、これまで、交流会を実施し生産者との交流や生産の現場の見学を実施してきました。



2018年実施した「こめっこ地養豚」産地メーカー交流会